

エコアクション21環境経営レポート



2023年4月～2024年3月

2024年6月28日発行

株式会社 東大分ノヴェル

目次

ページ番号

1	組織の概要	1
2	環境経営方針	2
3	環境経営目標	3
4	環境経営計画	4
5	実施体制	5
6	環境経営目標に対する実績値と評価	6
	比較グラフと評価	7～9
8	社会貢献および環境活動	10～12
9	環境経営計画の実施状況並びに次年度の計画	13
10	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	14
11	代表者による全体の評価と見直し・指示	15～16

1 組織の概要

事業者名	株式会社 東大分ノヴェル		
代表者名	代表取締役社長 小林 昭雄		
事業所名	本社：大分県大分市牧上町16番12号		
設立	昭和56年1月		
資本金	1000万円	従業員数	7名
売上高	55百万円(2022年9月～2023年8月)		
関連会社	なし		
事業内容	屋内外広告サイン、イベント企画・設営、印刷、交通安全施設の設計及び施工、鷹土工		
事業規模	床面積：456.49㎡ 工事件数：令和元年－84件 令和2年－64件 令和3年－70件 令和4年度－66件		
事業年度	9月～8月		
主要取引先	大分県・大分市・労働局・(株)佐伯建設・梅林建設(株)・(株)浦松建設		
環境管理責任者	小林 巧		
事務局	櫻井 未咲		

建設許可

管轄	業の種類	有効年月日	許可の種類	許可番号
大分県	一般建設業	令和8年5月1日	大分県知事（般-3）	第10461号
有資格者	建築：1級建築施工管理技士 1名、2級建築施工管理技士 1名 土木：1級土木施工管理技士 1名、2級土木施工管理技士 1名 その他：屋外広告士 2名			

認証登録範囲	全組織・全事業活動
対象期間	2023年4月～2024年3月
レポート発行日	2024年6月28日

2 環境経営方針

基本理念

株式会社東大分ノヴェルは、「Symbiosis-共生-」を理念とし、広告看板における企画、設計、施工を通じ、自然豊かな大分市の地域社会において、人や社会の発展に寄与する。

行動指針

株式会社東大分ノヴェルは、上記の理念から広告看板及び交通安全施設における企画、設計、施工の全ての過程に携わる事業者として、人と自然を大切にし、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、環境経営方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

- 1 電気 ガソリン 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組む。
- 2 事業活動に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努め、一般廃棄物の分別活動を推進して、適切なリサイクルに努める。
- 3 水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努める。
- 4 化学物質使用時の使用量を削減し、総使用量の削減に努める。
- 5 事業に関する環境関連法規制等を遵守する。
- 6 社員全員がこの環境経営方針を認識し、全員でEA21に取り組む。
また PDCAを回すことにより、環境経営の継続的改善に努める。
- 7 地域社会への貢献として次世代を担う子どもたちと共に、
日々環境に対しての意識を高め 美しい地球を守る活動を推進し取り組む。

制定 2022年4月1日

株式会社東大分ノヴェル

代表取締役 小林 昭雄

3 環境経営目標

今までの実績データ等を加味し2020年度を基準に2022年度から2024年度は取組む。各年度は4月～3月とする。

取り組み項目	単位	基準年度 2020年度	2022年度	2023年度	2024年度
削減率	%	－	－1%	-2%	-3%
二酸化炭素排出量の削減					
CO ₂ 総排出量	kg-CO ₂	17,886	17,707	17,528	17,349
電気使用量	千kWh	20.77	20.56	20.35	20.15
ガソリン使用量	ℓ	1,935	1,916	1,896	1,877
軽油使用料	ℓ	539	534	528	523
廃棄物削減					
一般廃棄物 排出量把握	袋	記録なし	167	164	162
産業廃棄物 再資源化率	%	100	再資源化量率 100%維持		
水使用量の削減					
水使用量	m ³	663	656	650	643
不良の削減					
(印刷物) 不良数	件	30	30	29	29
工事現場での目標					
環境に配慮した工事の推進	環境経営計画に基づいて施工を行う。				
化学物質の削減					
有機溶剤の適正管理 キシレン (塗料)	kg	0.3	使用量・在庫量の把握と適正管理		
社会貢献					
川のボランティア	月3回以上				

* 電力の排出係数はエフビットコミュニケーションズ(株)の調整後係数 0.578kg-CO₂/kWhとした。

* 二酸化炭素排出量の削減について、灯油・ガス (LPG) は量が少量で用途が限定されているため対象としない。

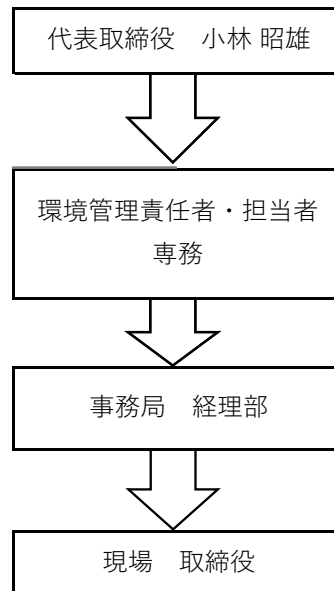
* 灯油・ガス (LPG) を含む基準年度の二酸化炭素排出量は18,595kg-CO₂となる。

* 一般廃棄物は2022年度実績を基に2023・2024年の数値・目標を作成した。

4 環境経営計画

取組項目	現場	本社	取組内容と計画
電力による二酸化炭素排出量の削減			
- 冷暖房機器使用時間、空調温度適正化 - 不要照明のスイッチオフ - トイレの消灯 - 未使用・非稼働設備の電源オフ - OA機器、空調機の退社時の電源オフ - 節電表示の徹底	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	「ムダをなくす」ことを基本に取り組む。1か月ごとに電力使用量の実績値前年度と比較し評価する。製造部、営業部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減			
- アイドリングストップ - 急加速の抑制 - 冷房の控えめ使用 - 社用車の車両別燃費の把握 - 車両点検の実施	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	各車両毎に1か月ごとに燃料使用量の実績値を前年度と比較し評価する。製造部、営業部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
一般廃棄物の削減			
- 廃棄物分別の徹底 - メモ用紙のリサイクル - 濡れている廃棄物の乾燥 - 梱包材の再利用 - 端材の再利用	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	6ヶ月ごとに廃棄物の実績値を前年度と比較し評価する。製造部、営業部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
産業廃棄物の削減			
- 廃棄物分別の徹底 - コンクリート塊やアスファルト等の再利用	○ ○		6ヶ月ごと廃棄物の実績値を前年度と比較し評価する。製造部、管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
化学物質の削減			
- 塗装工程の改善（段取り、ムダの排除） - 過剰在庫、過剰発注の防止	○	○	年1回有機溶剤の使用量と在庫量を把握し、製造部の理責任者はその結果を踏まえ過剰在庫を持たないように、発注をコントロールする。
節水			
- 節水器具の取り付け - 手洗い水量の適正化（ムダの排除）	○ ○	○ ○	2ヶ月ごと水使用量の実績値を前年度と比較し評価する。製造部、営業部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
（印刷物）不良の削減			
- ミスを予防する - コピー用紙の無駄をなくす	○	○	二重チェックを徹底的にする。
工事現場での目標			
環境に配慮した工事の推進	○		工事の効率化に務める。作業ミスをしないように、事前に話し合いをしておく。
社会貢献			
- 川のボランティア活動 - 花いっぱい運動	○	○ ○	「乙津川水辺の楽校」に参加する。花の植栽・水やりをする。

5 実施体制



役割・責任・権限

役割・担当者	責任・権限
代表取締役 小林 昭雄	- 環境経営方針作成 - 環境経営システムの承認 - 環境管理責任者任命 - 計画の承認 - 経営資源の準備 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 全体の評価と見直し - システムの評価と見直しを行い必要な指示を環境管理責任者に行う
環境管理責任者 専務	- 環境経営の統率責任者 - 取組の評価 - 環境経営レポートの作成・発行 - 各種報告書の作成 - 苦情処理に対応 - 環境経営目標及び環境経営計画等管理の責任者 - 環境経営目標と環境経営計画の立案、全社員への周知・教育と訓練 - 条例、法令を管理する - 緊急時への対応を指示 - 運用状況の監視・結果を代表取締役に報告
事務局 経理部	- 事務管理 - 環境活動データ収集と実績まとめ - 外部からの問い合わせの窓口 - 是正、予防措置を検討 - 環境負荷と原因となる活動を特定する - 環境負荷及び取組の自己チェックの実施
現場 取締役 本社 経理部	- 環境活動データ収集と実績まとめ - 外部からの問い合わせに対応 - 条例、法令を管理する - 緊急時へ対応する - 是正、予防措置を実施する - 環境負荷と原因となる活動を特定する - 環境経営方針、環境経営目標と環境経営計画の社員への周知・教育と訓練
従業員	- 環境管理責任者、専務の指示に基づき行動する - 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 自分の役割を理解し、自主的・積極的に地域社会における環境活動に参加

6 環境経営目標に対する実績値と評価

確認日：2024年6月17日

取り組み項目	単位	基準年度 2020年度	2023年度目標	2023年度実績	結果
二酸化炭素排出量の削減					
CO ₂ 総排出量	kg-CO ₂	17,886	17,528	18,560	×
削減率/対基準年比	%	-	-2%	3%	
電気使用量	千kWh	20.77	20.35	18.18	○
削減率/対基準年比	%	-	-2%	-13%	
ガソリン使用量	ℓ	1,935	1,896	2,825	△
削減率/対基準年比	%	-	-2%	46%	
軽油使用料	ℓ	539	528	578	△
削減率/対基準年比	%	-	-2%	7%	
廃棄物削減					
一般廃棄物	袋	記録なし	一般廃棄物排出量の把握	合計154袋 (把握できた)	○
産業廃棄物 再資源化率	%	100	再資源化量率 100%維持	維持できた	○
化学物質の削減					
有機溶剤の適正管理 キシレン（塗料）	kg	0.3	使用量・在庫量の 把握と適正管理	適切であった	○
水使用量の削減					
水使用量	m ³	663	650	385	○
削減率	%	-	-2%	-42%	
不良の削減					
（印刷物）不良数	件	30	29	26	○
削減率	%	-	—	-14%	○
工事現場での目標					
環境に配慮した工事の推進	経営企画に掲げていた計画を実行し目標を達成できた				○
社会貢献					
川のボランティア 花いっぱい運動	月1回以上 毎日 花のみずやり			月1回 参加した 毎日水やりした	○

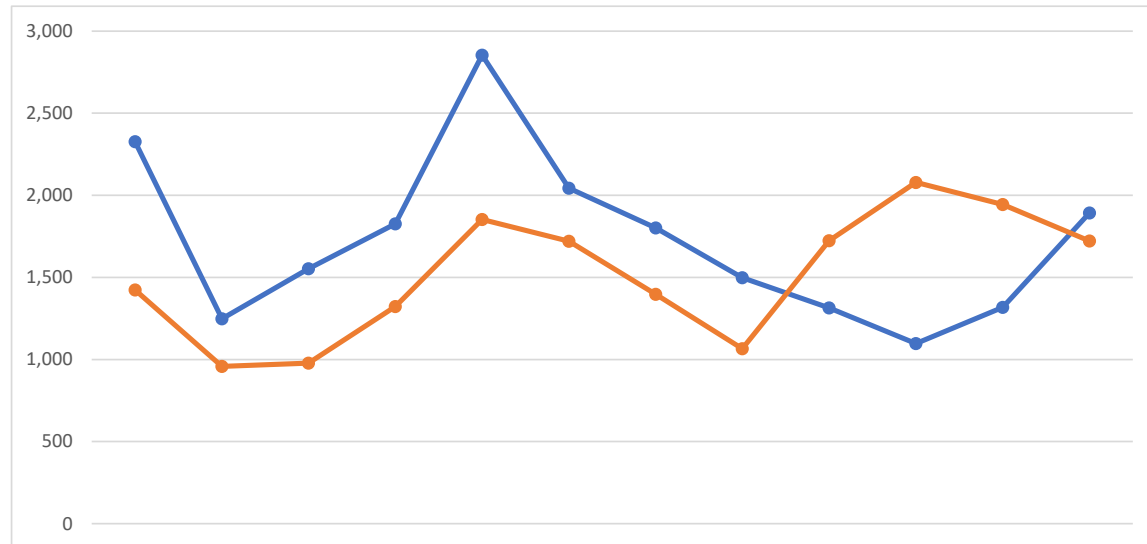
* 運用期間は4～3月とする。

* 電力の排出係数はエフビットコミュニケーションズ(株)の調整後係数 0.578kg-CO₂/kWhとした。

* 灯油・ガス（LPG）を含む2023年度の二酸化炭素排出量は19,078kg-CO₂となる。

電気使用量（kWh）

確認日：2024年6月17日



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
基準年度	2,326	1,248	1,553	1,827	2,854	2,044	1,801	1,498	1,315	1,097	1,317	1,893	20,773
今年	1,424	958	977	1,322	1,852	1,720	1,397	1,066	1,724	2,079	1,944	1,722	18,185
増減	-902	-290	-576	-505	-1,002	-324	-404	-432	409	982	627	-171	-2,588

作業部屋を1部屋減らしたことにより、より良く効果が出ていることが分かった。

寒い日の節電は難しいことが予測されるため、

超過しても問題ないようにそれ以外の日での節電を心がけるようにした。

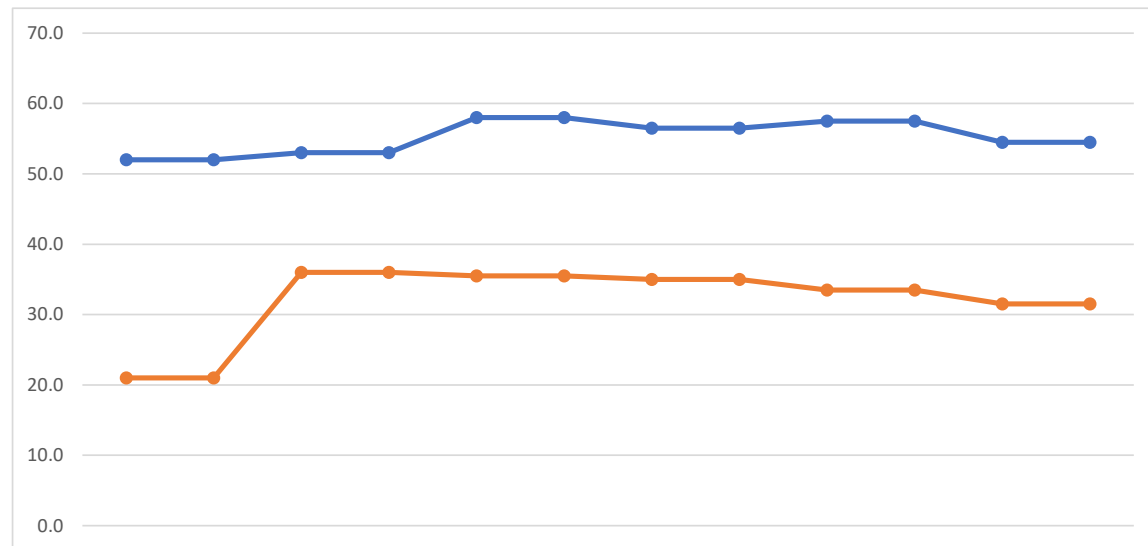
上記の方針の甲斐あって、全体的に電気使用量を削減することに成功している。

毎月良い成果が出ているのは社員全体の意識が強く高くなっているからだ。

今の方針を継続できることが今後につながると考えている。

社員に負担かけることなく維持できる方法も考えていきたい。

水使用量 (m³)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
基準年度	52.0	52.0	53.0	53.0	58.0	58.0	56.5	56.5	57.5	57.5	54.5	54.5	663.0
今年	21.0	21.0	36.0	36.0	35.5	35.5	35.0	35.0	33.5	33.5	31.5	31.5	385.0
増減	-31.0	-31.0	-17.0	-17.0	-22.5	-22.5	-21.5	-21.5	-24.0	-24.0	-23.0	-23.0	-278.0

2ヶ月ごとの定期会議の中で、

水道の使い方（水を出しっぱなしにしない等）についての意識を共有した。

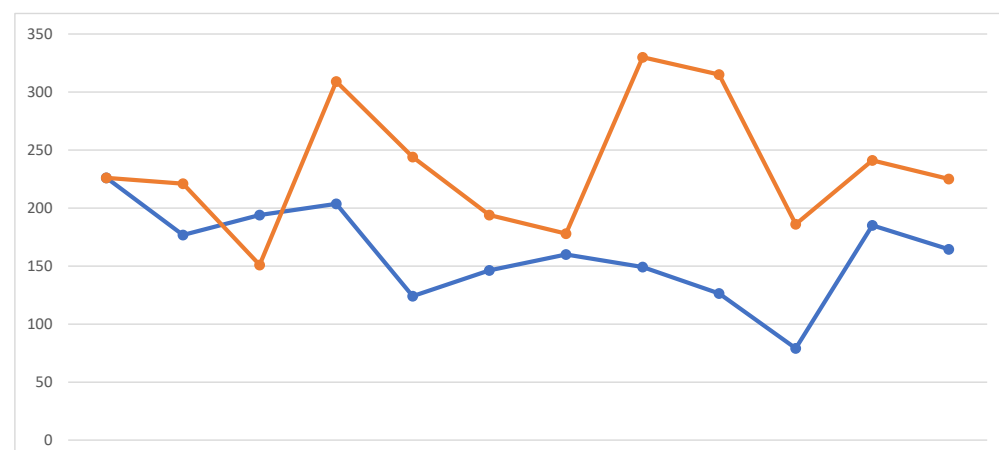
全体的に見ると水使用量削減に成功している。

水道の使い方の意識は簡単で一見小さなことに見えるが、

数値には大きく成果が出ており日々の積み重ねが大事なのだと改めて気付いた。

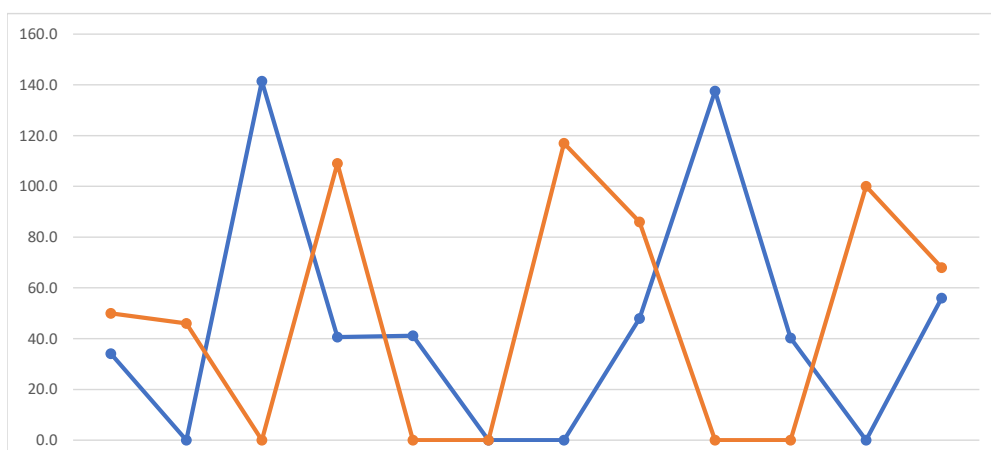
節水意識を継続しつつ、コツコツ努力する謙虚さも忘れないで仕事に励んでいきたい。

ガソリン使用量 (L)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
基準年度	226	177	194	204	124	146	160	149	126	79	185	165	1,935
今年	226	221	151	309	244	194	178	330	315	186	241	225	2,820
増減	-0.0	44.1	-43.0	105.4	120.0	47.7	18.0	180.9	188.7	106.9	55.9	60.5	885

軽油使用量 (L)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
基準年度	34.1	0.0	141.5	40.7	41.2	0.0	0.0	47.9	137.6	40.3	0.0	56.0	539
今年	50.0	46.0	0.0	109.0	0.0	0.0	117.0	86.0	0.0	0.0	100.0	68.0	576
増減	15.9	46.0	-141.5	68.3	-41.2	0.0	117.0	38.1	-137.6	-40.3	100.0	12.0	37

全体的にガソリン・軽油の使用量が増加している。

原因はガソリン・軽油の価格高騰と遠方の仕事の増加だと考えられる。

必要最低限の台数で現場に向かうように話し合いの場を設けることが多くなった。

今回は数値には反映されない結果になってしまったが、

話し合いを設けたことによって現場の作業や下準備等の効率化ができた。

結果も大切だがそれだけに囚われず 効率よく働ける柔軟な対応を心がけていきたい。

7 社会貢献および環境活動

①地域社会における環境活動としてボランティアをしている

「乙津川水辺の楽校」に継続して参加している。

毎月第4日曜に乙津川 河川敷で地域の方々や子どもたちと一緒に、
ゴミ拾いをしたり除草作業をしたりして川の清掃及び美化活動を行った。

又 カヌー教室では参加者のサポート及びカヌー体験をした。

そしてボランティア活動の終わりに参加者の皆さんと一緒に食事会をしている。

安部会長 持参のおにぎりや漬物・弊社持参の牡丹餅やシソジュース等を、
談笑しつつ楽しく食事するこの時間は とても幸せで精がつくように感じる。

この活動には大小問わず子どもたちが参加しており、
魚とりや虫とりをして楽しく遊んでいるのを見られる。

元気に遊ぶ子どもたちを見ると心が和み温まるように感じる。

「川に学び、川に感謝し、魅力ある川を次世代に」

このテーマに沿って今後も私達は子供達と共に環境改善への意識を学び活動を続けていきたい。

②弊社では「花いっぱい運動」を掲げており、職場の周りに四季折々の花を植えている。

歩道を散歩する方々に少しでも心の癒しを届けられたらと思い この活動を考案した。

現在も継続して活動をしている。

花の美しさは 見ているだけでも癒されるし、

私たちが穏やかな気持ちにさせてくれると思っている。

大分の景色は素敵だ、とっていただける1つのきっかけになれるよう、
仕事に励みつつ この活動を続けたいと思う。

カヌー教室の時の写真。

我々もカヌーに乗ってみたが、最初は上手に漕げずあまり前に進めなかったことを覚えている。

子どもたちはすぐに習得していたので 物事を吸収する力が強いのだと改めて感じた。

カヌーは2人で息を合わせて漕ぐことが大事だ。

このように誰かと協力して何かに取り組む力は、社会に出てからも必要な力だと考える。

カヌー教室を通して、仲間との絆の大切さがより深く理解できた。



食事会の時の写真。

安部会長が持参したおにぎりや漬物はとても美味しく活力がみなぎった。

弊社持参のもちやシソジュースも好評で、おかわりしてくれる人もいる。

何気ない会話・自然の匂い・美味しい食事が、

こんなにも穏やかで安らぐ時間になるのだと改めて感じた。



乙津川水辺の楽校の活動が合同新聞に掲載された。

この活動をもっと広めて、

川のことだけでなく 大分の素晴らしさも伝えていきたい。

今後も継続して参加を続けようと思える一つのきっかけになった。



花いっぱい運動の写真。歩行者に見えるところに設置している。

我々も通勤する際この花を見るのだが、いつも綺麗に咲いている花たちに癒しをもらっている。

歩行者の皆さんが「きれいだな」と安らぐ プチパワースポットになれば良いな、と思う。



8 環境経営計画の実施状況並びに次年度の計画

確認日：2024年6月17日

取組項目	製作部	総務部	取組内容と計画
電力による二酸化炭素排出量の削減			
- 冷暖房機器使用時間、空調温度適正化 - 不要照明のスイッチオフ - 昼休みの消灯 - 未使用・非稼働設備の電源オフ - 省エネ機器への入れ替え	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	今年度の取組を継続する。 非稼働設備の電源OFFを徹底する。 冷暖房機器の清掃・点検をする。 使用する部屋を最小限にする。
目標値の見直し			4.環境目標参照：変更せず、次年度も継続する。
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減			
- アイドリングストップ - 急加速の抑制 - 冷房の控えめ使用 - 省エネタイプの車両への入れ替え	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	今年度の取組を継続する。 冷暖房の温度設定を見直し改善。 車の点検を欠かさず行う。
目標値の見直し			4.環境目標参照：変更せず、次年度も継続する。
一般廃棄物の削減			
- 廃棄物分別の徹底 - メモ用紙のリサイクル - 濡れている廃棄物の乾燥 - 梱包材の返却	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	今年度の取組を継続する。 廃棄物の分別をしっかりと行う。
目標値の見直し			4.環境目標参照：変更せず、次年度も継続する。
産業廃棄物の削減			
- 廃棄物分別の徹底 - 梱包材の返却 - 個人による木屑の再利用 - 潤滑材代用のビニールのリサイクル - 廃パレットのリサイクル	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ 	今年度の取組を継続する。産業廃棄物は実績値を継続的に記録し、1年程度の実績を踏まえ目標値の見直しなども検討する。
目標値の見直し			4.環境目標参照：変更せず、次年度も継続する。
化学物質の削減			
- シンナーの再利用 - 塗装工程の改善（段取り、ムダの排除） - 過剰在庫、過剰発注の防止	☐ ☐ ☐		今年度の取組を継続する。 在庫管理の徹底をする。
節水			
- 洗浄工程の改善（ムダの排除） - 手洗い水量の適正化（ムダの排除）	☐ ☐	☐ ☐	今年度の取組を継続する。
不良の削減			
- 工程内不具合の件数を減少する - 流出不具合の件数を削減する - コピー用紙の無駄をなくす	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	作業する前に2重チェックを行う。
工事現場での目標			
環境に配慮した工事の推進	☐		今年度の取組を継続する。
社会貢献			
- 川のボランティア - 花いっぱい運動		☐ ☐	今年度の取組を継続する。

9 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

遵守確認：2024年6月17日

区分	関連法規制等		条項の内容	適合状況
	法規制名	条項		
水質	下水道法	第11条の2	下水道の使用開始届	○
		第12条の9	事故時の措置（事故の届け出と必要な措置）	○
	浄化槽法	第7条	浄化槽設置後の外観検査・水質検査	○
		第11条	定期検査（毎年1回の法定検査の実施）	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。	○
		第12条の3	運搬・処分を委託する場合マニフェスト伝票を交付する。（弊社は委託業者にもらう）	○
		法12条3第6項 則8条27	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
		法12条4	産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○
		則7条2の2	自社による運搬時の表示、書類携行	○
危険物	消防法	第10条	指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所で貯蔵、又は取り扱ってはならない。 ※非該当ではあるが危険物は取り扱っている所以对応した	○
リサイクル	家電リサイクル法	第6条	特定家庭用機器廃棄物の排出時、収集・運搬又は再商品化等をする者に引渡し、必要な料金を支払う。	○
フロン	フロン排出抑制法 （フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	第4条	排出事業者は、特定製品が廃棄される場合にフロン類の適正処理に必要な措置を講じなければならない（廃棄時、フロン類回収業者へ引き渡し実施）	○
		第16条	空調室外機の簡易点検、定期点検(7.5kW以上)の実施など	○
ガス	高圧ガス保安法	第1条	高圧アセチレンガスボンベの適正な取扱い	○
化学物質	PRTR法	第1条	対象物質（キシレン）取扱量の把握 対象物質取扱量が1tを超えた場合、大分県へ報告する	○

その他法規・条例関係

グリーン購入法	物品を購入する際、なるべく環境に配慮した物品を選ぶ	○
道路交通法	交通公害に係る大気汚染による公安委員会の交通規制への協力。交通ルールを遵守し、道路での事故やトラブルを防止し、安全でスムーズな交通状態を心掛ける。過積載車両の運転の要求等の禁止並びに違反荷主等への再発防止命令。	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、ありませんでした。

10 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日：2024年6月17日

保管期間：5年間

環境経営計画の取組結果の評価及び次年度の取り組み			
項 目	活 動 内 容	評 価	次年度の取り組み
二酸化炭素排出量の削減	・ 現場に向かう際は必要な車両と台数のみで向かう ・ 水道の使い方を考える (水の出しっぱなし 等) ・ エアコンの温度設定 (冷房26℃ 暖房27℃) ・ 不使用時の消灯 ・ 必要な作業部屋のみを使用	電気と水の削減が予想以上に良い結果が出ていた。その好成绩が二酸化炭素の排出を抑えることにつながっているがガソリン・軽油に関しては価格の高騰・仕事の関係で増加しているので、地道に少しずつ減らせるよう話し合いをする必要がある。	電気・水の取り組みは今の状態を維持。ガソリン軽油については、効率的に作業をし何度も現場に行くことがないように話し合いをしっかりと行うこと。会議は定期的に行えているため、今後も継続していきたい。
廃棄物削減	・ ゴミの分別の徹底 ・ コピー用紙の無駄をなくす ・ 二重チェックを確実に行う	ごみの分別はよくできているし二重チェックも社員が意識持って声をかけている。新たな問題点として、資料をなくすことがよくあるように思う。紙の無駄になってしまうため対策をする必要がある。	一度出した資料はなくなないようにファイリング or ホワイトボードに貼っておく。また資料を共有することも忘れない。二重チェックは引き続き行っていく。
化学物質の削減	・ 使用量及び在庫量の把握と適正管理をする	使用量が少なかったのもあって、化学物質の適正管理はよくできた。	引き続き適正管理に努める。安全かつ効率よく保管できるよう努力する。
水使用量の削減	・ 節水の呼びかけ及び実行 ・ 洗車用水や花の水やりの節約	節水の呼びかけによって社員の意識を高めることに成功した。グラフにもあるように水使用量削減に大きく貢献している。	今年度と同じように節水の呼びかけ及び実行を継続する。
(印刷物) 不良の削減	・ 二重チェックを行う	デザインの修正が多くカラーコピーの無駄が多い。人手不足で二重チェックができない場合にミスが発生した。きちんと行った時は不良品になるのを防げていた。	なるべく印刷前に二重チェック・修正をする。工期・納期の余裕を設けること、適切な作業員の割当を行っていきたい。
工事現場での目標	・ 環境に配慮した工事の推進	工事の効率化及びミス防止のため、事前の話し合いを徹底できていた。	今後も事前会議を継続して行うよう心がける。
社会貢献	・ 第4週の日曜日に行われる「乙津川水辺の楽校」へのボランティア活動に参加 ・ 川の清掃活動・除草作業 ・ カヌー教室に参加及びサポート ・ ボランティア活動の参加時牡丹餅や、しそジュース等お菓子や飲み物を差し入れ ・ 会社の周りは常に「花いっぱい運動」で四季折々の花を咲かせている	ボランティア活動を通し私達含め活動参加者の皆がふるさとの川である乙津川の大切さを学ぶことができた。地域の方々や子どもたちと一緒にボランティア活動することによって新陸も深めることができたと思う。また、食事会では参加者みんなの笑顔が見れ、とても良い経験になったと参加した社員も言っていた。	これからも地域の方々や子どもたちと共に手を取り合って「乙津川水辺の楽校」の活動を続けていきたい。そして魅力ある「大分のふるさとの川」を次世代に残していきたい。

取組項目別の評価と変更の必要性の判断		
令和4年4月1日にエコアクション21の認証に向けてスタートし、 令和4年11月6日に認証・登録されました。 令和5年4月～令和6年3月の1年間において下記項目の評価を行いました。		
[評価項目] 1.環境経営方針 2.環境経営目標 3.環境活動計画 4.実施体制		[評価結果・変更の有無] ・良好 ・変更なし ・良好 ・変更なし ・良好 ・変更なし ・良好 ・変更なし
代表者によるコメント・指示	代表取締役	記載日：2024年6月18日
各自の役割をこなしつつ、会議や話し合いで組織全体の意見交換がよくできた1年だった。 特に水と電気の使用量については、会議の影響がよく出ており素晴らしい結果となった。 ガソリンや軽油に関して、価格高騰が影響し 数値には表れない結果となってしまった。しかし組織全体の意見共有・業務効率化に精を出す月が多かったように思う。 「乙津川水辺の楽校」のボランティアでは、活動日ごとにゴミの量が減っていると感じた。 実際にあまりゴミが落ちていないのがわかった時、すっきりとした感覚になると同時にこの状態を守っていかなければと身を引き締めるきっかけにもなった。 数値に表れている部分はもちろん評価するべきだし、成果がよくないところは改善していくべきだと思う。 しかし評価できるところは数字だけではない、と私は思う。 努力の過程や会議の充実さを見てみると、数字には表れない良いところや組織の団結力を感じる事が多くある。 皆で話し合いをする場を設けたことは、仕事のにもEA21の活動的にもプラスになっている。 「全社員で考える」・「皆で目標に向かって行動する」、これを今後も継続できる意識高い組織になってほしい。		

株式会社 東大分ノヴェル

<https://www.oita-novel.co.jp/>

〒870-0925 大分県大分市牧上町16-12

TEL : (097)552-0348 FAX : (097)558-7682

E-mail : koukoku@oct-net.ne.jp